

# 2019年度 可児市の予算

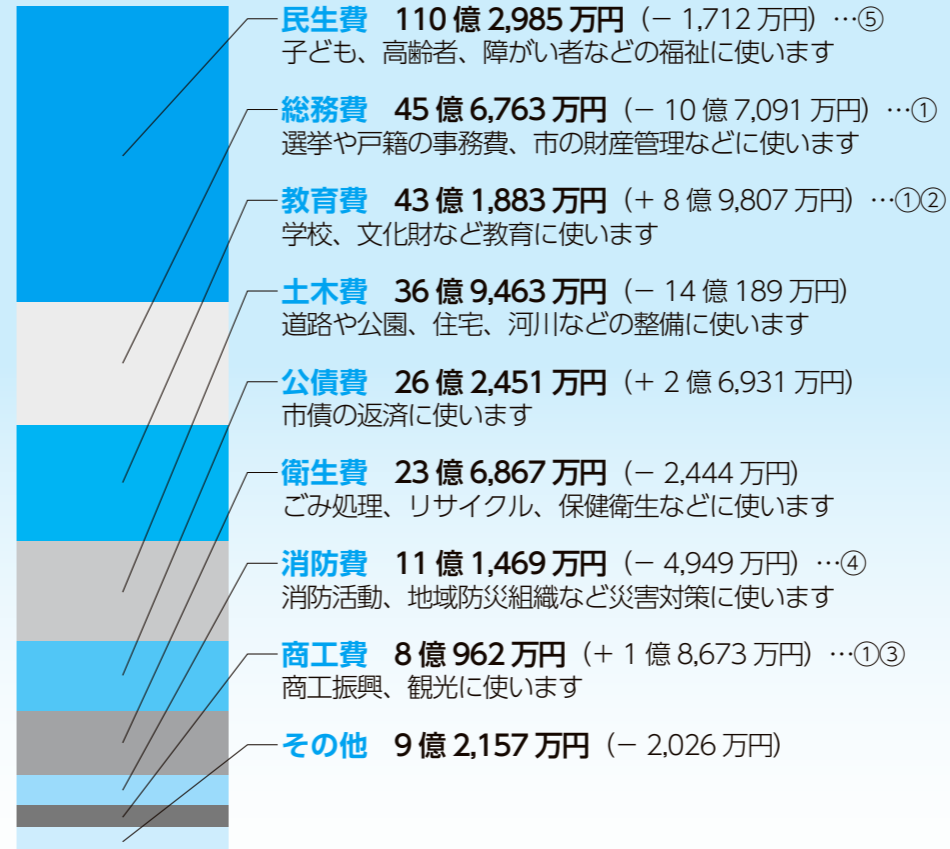
住みこち一番・可児に向けた

問合せ 財政課

## 314億5,000万円

(カッコ内は昨年度比、丸数字は下記事業に該当)

### 歳出



### 歳入



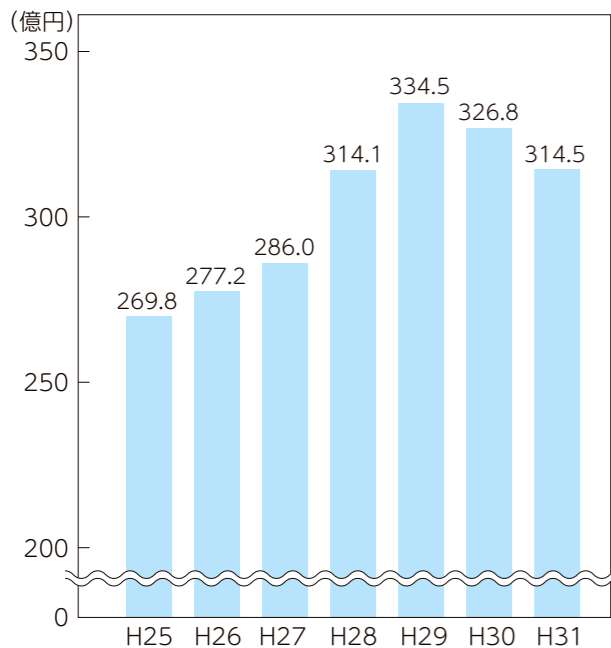
## 特別会計

区分	金額
国民健康保険事業	107億3,800万円
後期高齢者医療	12億700万円
介護保険	70億8,170万円
自家用工業用水道事業	1億6,000万円
農業集落排水事業	1億7,500万円
可児駅東土地区画整理事業	2億90万円
財産区(5地区の計)	2,990万円
合計	195億9,250万円

## 企業会計

区分	金額
水道事業	31億1,100万円
下水道事業	48億8,400万円
合計	79億9,500万円

## 一般会計当初予算額の推移



可児市の財政状況は健全な状態を維持していますが、高齢化による社会保障費の増加など社会環境の変化に伴い厳しい状況にあります。各事業を精査し、限られた財源を有効に活用する予算運営を行っています。



① 大河ドラマ「麒麟がくる」の放映を契機に、市の魅力を全国へ発信します。



② 文化創造センター・アリーナ 大規模改修工事 開館から17年目を迎えるアリーナの安全対策や、経年劣化に伴う工事を2年にわたって行います。



③ 新たな工業団地の整備 東海環状自動車道可児御高IC周辺の利便性を生かした工業団地開発の調査を行います。優良企業の誘致を進め、新たな雇用の場の創出と地域の経済活性化を図ります。



④ オートコールサービスの開始 豪雨時に浸水や土砂災害などの危険性がある区域に住む要配慮者に、避難情報を自動的に電話でお知らせし、迅速な避難を促します。また、消防団員を対象に火災情報を同様にお知らせし、速やかに消火活動ができる体制を取ることで、災害に強いまちづくりを進めます。

⑤ (仮称)可児あんきクラブの新設 高齢者の孤立を防ぐため、原則75歳以上の市内在住者の全員が加入する組織をつくりまします。民生児童委員などが訪問したり、高齢者に特化した通信を配布したりと、いくつになっても安心して暮らせるように取り組みまします。

### 今年度の主な事業

#### ① 大河ドラマ活用をはじめとした観光施策

大河ドラマ「麒麟がくる」の放映を契機に、市の魅力を全国へ発信します。

#### ② 文化創造センター・アリーナ 大規模改修工事

開館から17年目を迎えるアリーナの安全対策や、経年劣化に伴う工事を2年にわたって行います。

#### ③ 新たな工業団地の整備

東海環状自動車道可児御高IC周辺の利便性を生かした工業団地開発の調査を行います。優良企業の誘致を進め、新たな雇用の場の創出と地域の経済活性化を図ります。

#### ④ オートコールサービスの開始

豪雨時に浸水や土砂災害などの危険性がある区域に住む要配慮者に、避難情報を自動的に電話でお知らせし、迅速な避難を促します。また、消防団員を対象に火災情報を同様にお知らせし、速やかに消火活動ができる体制を取ることで、災害に強いまちづくりを進めます。

#### ⑤ (仮称)可児あんきクラブの新設

高齢者の孤立を防ぐため、原則75歳以上の市内在住者の全員が加入する組織をつくりまします。民生児童委員などが訪問したり、高齢者に特化した通信を配布したりと、いくつになっても安心して暮らせるように取り組みまします。